

2 (60点)

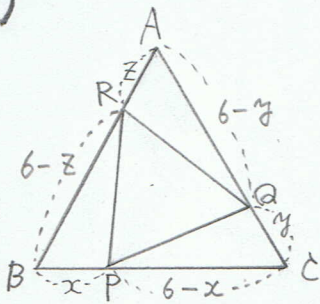
$\triangle ABC$ を一辺の長さ6の正三角形とする。サイコロを3回振り、出た目を順に $X, Y, Z$ とする。出た目に応じて、点 $P, Q, R$ をそれぞれ線分 $BC, CA, AB$ 上に

$$\vec{BP} = \frac{X}{6} \vec{BC}, \quad \vec{CQ} = \frac{Y}{6} \vec{CA}, \quad \vec{AR} = \frac{Z}{6} \vec{AB}$$

をみたすように取る。

- (1)  $\triangle PQR$ が正三角形になる確率を求めよ。
  
- (2) 点 $B, P, R$ を互いに線分で結んでできる図形を $T_1$ 、点 $C, Q, P$ を互いに線分で結んでできる図形を $T_2$ 、点 $A, R, Q$ を互いに線分で結んでできる図形を $T_3$ とする。 $T_1, T_2, T_3$ のうち、ちょうど2つが正三角形になる確率を求めよ。
  
- (3)  $\triangle PQR$ の面積を $S$ とし、 $S$ のとりうる値の最小値を $m$ とする。 $m$ の値および $S=m$ となる確率を求めよ。

(1)



$\triangle PQR$  が正三角形になるのは、 $x=y=z$  のときであるから

その確率は

$$\frac{6}{6^3} = \frac{1}{36}$$

(2)

$$\triangle T_1 \text{ が正三角形になるのは } x=6-z \text{ つまり } x+z=6 \text{ --- ①}$$

$$\triangle T_2 \text{ が } \quad \quad \quad y=6-x \text{ つまり } x+y=6 \text{ --- ②}$$

$$\triangle T_3 \text{ が } \quad \quad \quad z=6-y \text{ つまり } y+z=6 \text{ --- ③}$$

ここで、ちょうど2つが正三角形になる場合を考えるのだから、

①, ②, ③ のうちの2つが成り立って、1つが成り立たない場合を見つけなければならない。

そこでまず、①と②が成り立って、③が成り立たない場合を考える。

$$\text{①} - \text{②} \text{ より } z-y=0 \therefore y=z \text{ --- ④}$$

①, ②, ④ が成り立って、③が成り立たないものは、

$$(x, y, z) = (1, 5, 5), (2, 4, 4), (4, 2, 2), (5, 1, 1) \text{ の4通り}$$

となる。当然  $(3, 3, 3)$  は③が成り立ってしまうので除いた。

同様にして、

②と③が成り立って、①が成り立たない場合も4通り、

①と③が成り立って、②が成り立たない場合も4通り

となることは明らかである。

したがって、求める確率は

$$\frac{4 \times 3}{6^3} = \frac{1}{18}$$

(3)

$$\begin{aligned}
S &= \triangle ABC - (\triangle BPR + \triangle CQP + \triangle ARQ) \\
&= \frac{1}{2} \times 6 \times 6 \times \frac{\sqrt{3}}{2} - \left\{ \frac{1}{2} \times x \times (6-z) \times \frac{\sqrt{3}}{2} + \frac{1}{2} \times y \times (6-x) \times \frac{\sqrt{3}}{2} + \frac{1}{2} \times z \times (6-y) \times \frac{\sqrt{3}}{2} \right\} \\
&= 9\sqrt{3} - \frac{\sqrt{3}}{4} \{ x(6-z) + y(6-x) + z(6-y) \} \\
&= 9\sqrt{3} - \frac{\sqrt{3}}{4} \{ 6x - xz + 6y - xy + 6z - yz \} \\
&= 9\sqrt{3} - \frac{\sqrt{3}}{4} \{ x(6-y-z) + 6y + 6z - yz \} \\
&= 9\sqrt{3} - \frac{\sqrt{3}}{4} [ x\{6-(y+z)\} + 6(y+z) - yz ]
\end{aligned}$$

$\left. \begin{array}{l} \{ \} \text{の中を } x \text{ に着目して整理} \\ y+z \text{ をまとめておく} \end{array} \right\}$

ここで  $T = x\{6-(y+z)\} + 6(y+z) - yz$  とおく

$S$  が最小となるのは、 $T$  が最大のときであることがわかる。

そこで  $T$  の最大値をさがす作業に入る。

$T$  を最大にするためには、先頭の項  $x\{6-(y+z)\}$  が 0 や負ではなく、正となる必要があるので、 $y+z \leq 5$  ということがわかる。

$$\left. \begin{array}{l}
\text{そこで } y+z=5 \text{ のとき } T = x(6-5) + 6 \times 5 - yz = x + 30 - yz \\
y+z=4 \text{ のとき } T = x(6-4) + 6 \times 4 - yz = 2x + 24 - yz \\
y+z=3 \text{ のとき } T = x(6-3) + 6 \times 3 - yz = 3x + 18 - yz \\
y+z=2 \text{ のとき } T = x(6-2) + 6 \times 2 - yz = 4x + 12 - yz
\end{array} \right\} \text{--- ⑤}$$

⑤の各式を最大にするためには  $x=6$  とする必要がある。

すると ⑤の各式は全て  $T = 36 - yz$  となる。

そこで  $T$  を最大にする  $y, z$  は  $y=z=1$  であることがわかる。

このときの  $T$  の値は  $T = 36 - 1 \times 1 = 35$  となる。

したがって

$$S \text{ のとりうる値の最小値 } m = 9\sqrt{3} - \frac{\sqrt{3}}{4} \times 35 = \frac{36\sqrt{3} - 35\sqrt{3}}{4} = \frac{\sqrt{3}}{4}$$

これが  $(x, y, z) = (6, 1, 1), (1, 6, 1), (1, 1, 6)$  で成り立つことは

$S$  の式から当然わかるので、

$$S = m \text{ となる確率は } \frac{3}{6^3} = \frac{1}{72}$$